

2021年11月16日
横浜ケーブルビジョン株式会社

第41回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2021年11月11日(木) 10:00～11:40

開催場所 オンライン会議(YCV本社)

番組審議委員 全7名『出席7名』

渡邊 敏生会長

太田 由紀枝委員 河内 宗次郎委員

小磯 守委員 篠崎 顕一委員

中嶋 孝委員 渡邊 晶委員

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長

京 克樹

取締役副社長兼コンテンツ部長

世古 仁志

コンテンツ部マネージャー

栗田 浩輔

コンテンツ部マネージャー

田光 あずみ(事務局)

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 訂正放送について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

※今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン会議にて実施

【委員の皆様からのご意見】

- 新しいコーナーがとても楽しく、新鮮な発見が沢山あり大変良かった。
横浜国立大学の学生も出演していたが、近くに専門学校もあるので、ぜひ専門学校生にも視点を当てていただくことも検討していただきたい。
- コロナ禍で家の中で過ごす時間が多くなっているが、そんな時に「身近にこんな新しい施設がある」や「小学生がこんなに楽しく給食を食べている」など、マスクをしながらの給食で皆さん心配なこともあると思うので、様子が分かってよい。
美容院なども行けない中「おうちでこんなにきれいな髪型ができる」など、様々な豆知識を知ることができてよかった。
- 保土ヶ谷宿場の小学生の CM が大変良かった。
引き続き、色々な子ども達に焦点を当てて行っていただきたい。
- 『学校調査隊コーナー』や学校関係のニュースが増えて、楽しみに見ている。
学校の取材は、事前に学校関係者から話を通しておいてもらおうとスムーズに行えると思う。
記念式典など、学校の PR もして行っていただきたい。
- 『えかたり〜ベ紙芝居』がとても楽しみ。
将来的には、横浜市全域に広がっていき、冊子でもできたら良いと思う。
プロではない方も紙芝居を読んでおり、味があってよい。
- 空撮映像について、何年か時間を要するが、泉区の深谷通信隊やゆめが丘駅周辺など開発が進んでいる場所を現在の状況と開発後の状況を比較できるように撮影・放送して残して行っていただきたい。
- 学校の先生等、自宅でケーブルテレビが見られない方向けの視聴方法があれば教えていただきたい。
- 『学校調査隊』コーナーがとても良い。山田キャスターが子どもたちの中に入っても違和感がなく紹介できていると思う。学校を取り上げることが多くなり、子ども達も喜んでいと思うが、ケーブルテレビを導入していない学校では放送を見る機会がない。ぜひ、横浜市 CATV 協議会から横浜市教育委員会へ横浜市内の学校へのケーブルテレビの導入について、アプローチを検討していただきたい。
- 『地域情報便 じもっと!!』山田・山口両キャスターの掛け合いがとても良い。
- 『テレミン体操』を 5 分から 10 分に拡大したことは大賛成。子ども達だけでなく、お年寄りの健康体操などの切り口でも放送していったらどうか。
来年出演を予定している団体の皆さんは、今から練習に力が入っておりとても楽しみにしている。
- 『横浜市空からの映像』について、主要道路やスポットの名称などを入れていただくと場所が分かりやすくなる。
- 『地域発信バラエティーのんビリー行こう』について、番組 MC の否定的なコメントが気になった。
- YCV で取材した施設から、YCV コンテンツ部のスタッフは礼儀正しくとても良いという評判を聞き、嬉しく思っている。
- 『えかたり〜ベ紙芝居』が放送されると、紹介場所の問合せや紙芝居に描いた内容と実物の違いについてご指摘をいただいたりするようになった。
- 『学校調査隊』の取材を取り次いだところ、放送開始後、生徒が御礼で訪ねてきたり先生も喜んでいた。

- 神奈川県は、現在交通死亡事故が全国 NO.1 となっている。これを YCV で取り上げ、少しでも交通事故防止につながれたら良い。昨年より旭警察署長と旭区交通安全協会会長の連名で、地域で学園隊・見守り隊で頑張っている方々を表彰している。また、10 年来、旭区内の小学校で実施している「はまっこ安全教室（4～7 月開催）」や「高齢者の安全教室（9 月～12 月開催）」、旭区老人クラブ主催のスポーツ大会での「警察講話や衝突実験」「卒園児向けの交通安全教室」などを開催しているので、取材していただき、沢山放送していただきたい。
- 『えかたり～べ紙芝居』で「さっちゃん観音」の紙芝居を作ってもらった。
小学校や地域施設などで展示を行うことができ、非常にありがたい。
- 学校関係の取材について、小学 2 年生による大根の植え付けから収穫までの撮影を行う予定だったが今年はやわなかった。その代わりに、町内のボランティアの方と学校に行き、学校の花壇を掘り起こし全校生徒 100 人分の大根を育てる場所を作り、児童に種まきをしてもらった。
11 月後半～12 月上旬に収穫予定。
- お正月に行われる「お囃子」の取材もぜひお願いしたい。
今年も地元に着したボランティア活動をしていくので、ぜひ協力をいただきたい。

- 現在、ホームレスの方の問題について、取組みを行っている。
ホームレスの方も生活や行き場に困っているので、温かい目で見守っていきたいと思っている。
- 平沼高校の生徒 200 名程が、平沼高校から西口道路の清掃活動を実施するため
生徒達が安全に清掃活動できるよう自治会でパトロールを行う。
こちらの様子は、YCV で取材し放送する予定となっている。
- 視聴者からの声の中で「激励」の割合が多く驚いた。地元の皆さんに愛されていることが分かった。
- 『おうちでちょこっトライ』では、地域で活躍する講師の方が出演しているが、どのように見つけて声を掛けているのか教えてほしい。各区の市民活動センターには、数百人規模でボランティア講師が登録されており、その方たちが活躍の場を求めておられるので声掛け等をしていただいているのか。
- ケーブルテレビの最大の特徴であり魅力は「双方向性」であると思う。
YCV の取組みは「地域住民の方の活躍」「地域の資源」「地域の魅力」を引き出そうとしており、双方向性の意味合いが大きいと思う。
- 横浜市は道路の破損や陥没などを発見者がスマートフォンで撮影し通報するシステムがあり、他の自治体では、公園の遊具やガードレールの破損などの通報システムもある。
YCV でこういった仕組みを紹介するコーナーやアプリなどを作り、YCV に情報が寄せられ、そこから地域の議員の方などに情報提供を行い解決に向かうことができたらよい。
- 神奈川県が現在交通死亡事故全国 NO.1 ということで、交通事故の問題は非常に重大だと思っている。
小学生以下のお子さんはチャイルドシートの装着が重要な問題となる。
「チャイルドシートを装着しているか」「適正な状態で装着されているか」などをチェックする機会がない。交通安全協会・YCV・JAFF 等が連携したチェックアップのイベントが開催できたらよいと思う。YCV という媒体を活用して、小さい子どもたちのチャイルドシート装着の啓発活動ができたらよいと思う。

- 交通安全協会と YCV が連携し、各地域で園児や児童の通学路の危険箇所をピックアップして YCV キャラクター「テレミン」に紹介してもらおうような試みをしてはどうか。

【京社長／横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

＜新サービスの導入＞

- ・2021年2月 格安プラン月額980円の1GBプランを開始
- ・2021年4月 Netflixとケーブルテレビがセットで見られる「ワイワイ Flex」開始
- ・2021年8月 少額短期保険サービス開始
- ・2022年1月 ケーブルテレビの回線を使用した下り1 Gbps サービス開始予定

＜地域との取り組み＞

- ・ネーミングライツ「テレミン商店街」の延長
- ・ICT支援活動（横浜市との協業／自治会・町内会向けに「LINE」を使ったオンライン会議講座開催）
- ・横浜市ケーブルテレビ協議会の活動強化（YCV社長が協議会の会長に就任・YCVが幹事法人を担当）

【世古副社長挨拶】

今回特に『学校調査隊』や『えかたり〜べ』等、具体的な評価をいただき、大変参考になった。

お客様への告知強化も含め、引き続き取り組んでいきたい。

また、コロナ禍の中での活動はまだまだ手探りの状況もあるが、今後はウィズコロナの中で、お客様の状況を見ながら、どのような情報発信ができるかを考え、交通安全の情報発信などについても取り組んでいきたい。